

高橋千香 一般質問

○コロナワクチン接種の今後の進め方について

・65歳以下の接種・若い世代への接種・65歳以上でまだ予約していない方々への対応について

・コロナワクチン推進委員会（仮称）での検討・協議について

・ワクチン接種ボランティア募集について

○ジオパーク「海辺の花園・再生プロジェクト」活動への更なる町の支援について

・サンセットパームライン、ハマカンゾウの群生地でもあり、これから代表的な拠点になるであろう場所の開墾について

問）今回の一般質問はコロナワクチン接種についての質問から始めます。

大島でもコロナワクチン接種がスタートし、予約の電話対応、接種会場での対応、また、それ以外で様々対応に尽力している役場職員、医療従事者の方々にこの場を借りて感謝を申し上げます。

有難うございます。これからも宜しくお願いいたします。

今回の質問はその現場で尽力しているその努力を応援したく、更に

住民から寄せられるご意見、苦情などの緩和に対し、改善案と提案をしますので、実施出来るもの、取り入れていただけるか質問したいと思います。

現在、65 歳以上のワクチン接種が実施されております。この接種に関しても 7 月いっぱい（8 月 5 日）許容範囲で完了予定であることは広報で示されております。

そこで今回最初の質問は今後の接種 64 歳以下の接種について 64 歳以下で基礎疾患のある方の接種 若い世代の方々への接種 また、65 歳以上で予約をしておらず、再度希望をしたいと思っている方への対応についてです。

ここで八丈島の例を挙げさせていただきます。

八丈島の公明党議員と連絡を取り合い接種状況やこれからの実施について情報共有をしております。ワクチンの供給について本土からの配送計画には八丈島と大島では大きな違いもあり（飛行機で空輸される場合と船での配送など）一概に八丈島の例が大島にあてはめられるものではないことも付け加えておきます。

ここで申し上げたいのは住民への周知・ホームページの活用であります。八丈島の HP のトップ画面には現在のワクチン接種状況が

表示されています。

対象者数（65 歳以上）2978 人 1 回目接種 1289 人（43%）2 回目接種 188 人（6%） 6 月 1 日現在 です。

また、コロナワクチン接種についての項目を検索するとコロナワクチン接種についての流れが簡潔にわかりやすく説明されており、次の接種予定者 60 歳～64 歳 となっており、ここが注目すべき点ですが {下記の基礎疾患をお持ちの方は福祉けんこう課までご連絡ください。ご連絡いただいた対象者へは個別に通知を送付します。

事前連絡受付期間は 6 月 14 日～7 月 5 日 8 時半～17 時 15 分

*** 基礎疾患の確認は予診票による本人の自己申告と接種前の問診で行う予定です。診断書等の提出は必要ありません}** となっております。

対象者数 現在の接種状況％で表示 次の接種者の表示 事前連絡導入に関して、是非大島でも、この方法を取り入れ、少しでも円滑に接種予約が出来るよう望みます。

更に現在、大島は休日接種は行っていないませんが、医師と話をする機会に「土日でも接種を」との思いもお聞きしましたので、なるべく多くの方に早めに接種をと考えますと是非その方向も再度検討を

お願いしたいのです。そのための支援金も国として提示しておりますので、今後の接種に関して、大島医療センターと協議していただけますでしょうか。

次に 65 歳以上で予約出来ていない方々ですが、していない（つまり希望しない方もいるでしょうが）電話予約でつながらず諦めてしまった方の話しもお聞きしたり、予約のやり方がわからない、町に予約の電話が出来ない方などへの対応も「ワクチン希望者は 1 人も取りこぼさない」と対応をお願いしたいところです。

具体的な提案ですが、65 歳以上で電話予約していない方で希望したい方はまずは出張所や役場（予約電話でなく）相談していただき、把握し、予約の手伝いを行うであります。

6 月 2 日から予約電話の受付が始まり 8 日まで行っていたのは広報に書いてありましたが 4 日までだと勘違いしていた方も多く、7 日 8 日の予約電話に余裕があったともお聞きしたので、知人へはお知らせいたしました経緯もありました。

電話がつながらなかった 予約期間は終了した。私たちはもう希望できないのか 65 歳以上で予約する場合は、次は 64 歳以下の予約電話にかけなければならないのか。相談する人もなかなかいない。

など このような方々への対応も出来る体制をお願いしたいです。

7月広報原稿・HP原稿には是非、このような方々への対応策も追加いただきたいと思います。

通告項目に入れていたワクチン接種推進委員会（仮称）での検討ですが、今後のやり方・広報やHPでの周知等を町だけで抱えず、私たち議会にも手伝わせてほしいのです。 前回の広報掲載原稿は議会へ説明された時には広報原稿の締め切りに間に合わず、住民からの意見を反映させられませんでした。議会からの無理な要望ではなく、住民から寄せられる不安（安全安心・円滑なワクチン接種）を解消するため私たちも協力させてくださいとのスタンスです。

それはワクチン接種ボランティア募集についても同じです。接種会場での予診票記入や誘導など担当者が必死にやっている姿は見ておりますが、2回接種を終えた方は体験者です。何か手伝ってやろうとの方もいらっしゃいます。是非、ご検討ください。

最後に若い世代への接種ですが、休日接種が可能になれば、若い世代でも遠征 出張などで本土へ行く方々（動く方々への）なども並行してワクチン接種対象者として早期に出来ないかと考えていただきたいです。

そして今回、破棄されるワクチンが出ないような対応策でしょうか、キャンセル待ち、急なキャンセルに対して対応出来る方の接種対象者が明確になっていなかったようなので合わせてご説明をお願いいたします。

そのような対象者に対する住民の理解を得るためにも今後は対象者の条件などの周知も必要と思えます。

町長 福祉けんこう課長 ご回答をお願いいたします。

答) 福祉けんこう課長

はじめに、今回のワクチン接種に伴う電話予約については、コロナ禍のなかで、電話の繋がりにくさによる不安や不満、憤りを感じさせたこと、また、不十分な住民周知などに対し、住民の方々、議員の皆様には大変ご迷惑をかけてしまい申し訳ございませんでした。

それでは、高橋議員の質問「コロナワクチン接種の今後の進め方」について福祉けんこう課よりお答えします。

1 点目の 64 歳以下の接種、また若い方への接種や、65 歳以上でまだ予約していない方々への対応についてですが、まず、6 月 1 日で接種対象者が拡大され、16 歳以上から 12 歳以上と引き下げられ、64

歳までの接種対象者は約 3700 人となります。小中学生については、個別接種も考え、高校生については検討中でございます。

また、それ以外の現役世代の方、基礎疾患をお持ちの方については、基本、高齢者と同様、集団接種を考えております。

特に基礎疾患をお持ちの方については、6 月 2 日より実施した第 2 クールでの希望する高齢者の全てが予約され、予約枠にも十分な空きスペースがあることから 6 月 11 日及び 14 日の 2 日間、引き続き 65 歳以上の高齢者の分と合わせて予約受付をしたところです。

ちなみに、現時点における、65 歳以上で接種希望された高齢者は約 2400 人で、高齢者全体の約 85%となっております。

また、ホームページの活用による接種状況に関する住民への周知につきましては、他島を参考にしながら積極的検討していきたいと思っております。

2 点目のコロナワクチン接種推進委員会での検討についてです。委員会の検討という事は考えていませんが、円滑なワクチン接種を進めるためにも、医療機関と連携しながら今後とも実施していきます。

また、このワクチン接種に関わる体制については、課長会等で協議

していただき、職員の派遣など全面的な協力を得ております。

3点目のワクチン接種ボランティア募集についてですが、大島社協の方にも相談させていただきましたが、無症状の接種希望者が見込まれること、また、感染拡大防止のため、ボランティアによる接種協力については考えておりません。

次にワクチンが無駄にしないため、前回の受付では、約1日半で予約がうまり、受付終了についての防災行政無線による、住民周知時間差もあり、この間、柔軟な電話対応を図ることから、キャンセル待ちとしての対応策をとったところです。

今回の受付については、予約枠を拡大したことで、無症状の方々が多数いる中、接種業務に従事する町職員に対して、随時接種をうながし、ワクチンが無駄にならないように努力していきます。

最後に、住民の皆様には不快な思いをさせたこと大変申し訳ありませんでした。

答) 町長

コロナワクチン接種の今後の進め方について、お答えします。

福祉けんこう課長の答弁とおり、ワクチン接種の迅速化等に向け、関係機関とも連携・協力しながら創意工夫して取り組んでまいります。

す。

問) 次へ進みます。

ジオパーク・海辺の花園再生プロジェクトに協力してくださっている方からの要望です。

以前からパームラインで実施されている「海辺の花園再生プロジェクト」ハマカンゾウの群生を少し教えていただきました。その計画している場所である「赤禿から岡田方面へ向かう坂道の海側に面した広めの場所」の開墾をお願いしたいのです。住民 観光の方々にも今後ハマカンゾウの群生地として代表的な拠点になるであろう場所であり、富士山も見えて景観もよく写真を撮りたくなる所であります。

この場所に実際、ハマカンゾウの移植も行われているのですが、なかなか土地が堅く、人力では難しい状況であるとお聞きしました。

重機による開墾、つまり町の追加予算、支援のお願いであります。ジオパークでの予算には新たな開墾予算は含まれておらず、高校生中心としたボランティアの手で作業も行われておりが、その後押しになる事業となることでしょう。

そのジオパーク活動の推進のために（現在、イベント中止が続い

ておりその間に）重機による開墾を行えるのではと思いますので、なるべく早い段階での実施（予算を）をお願いいたします。

以前、パームラインの腐った柵の撤去と新たな木の柵について町長とお話ししたところ、パームラインを整備したい、将来に向けて新たな計画を考えたいと思っているとの話もありました。

将来に向けた 10 年構想であっても、現在。お考えがあればお聞かせいただきたいですし、この海辺の花園再生プロジェクトは同じ区域でもあり、先んじて実施をしておくのも計画の一つとして大事な案件となりますので、盛り込んでいただきたいものですので、お考えをお聞かせください。

町長のお答えで実施を検討してくださるのであれば、建設課長、観光課長のお答えは要りませんので宜しくをお願いいたします。

答）町長

ジオパーク「海辺の花園再生プロジェクト」活動への更なる支援についてお答えします。

ハマカンゾウの移植場所の開墾についてということですが、この場所は担当課に確認したところ、いろいろな面で貴重であり価値の

ある場所であると同っています。

そのため、次の移植時期である 9 月までには重機による開墾をします。